

- 市の将来都市像**
- ◇市民協働のまち
 - ◇環境先進都市
 - ◇子育て・保健福祉のまち
 - ◇商業・文化芸術都市

発行・町田市 編集・政策経営部広報課
〒194-8520 東京都町田市森野2-2-22
市役所の代表電話042・722・3111
発行日・毎月3回1の日(1日、11日、21日)
ホームページ <http://www.city.machida.tokyo.jp/>



今号の紙面から

2面

3人乗り(幼児2人同乗)自転車の利用希望者を募集します

3面

都市計画マスタープラン(地域別構想編)の改定素案がまとまりました説明会を開催します

4面

高齢者体験型交通安全講習会参加者募集

農業振興計画アクションプランを策定しました

問農業振興課

☎724・2166 FAX050・3101・9913



担い手育成・支援

- 1 農業研修の実施 **重点**
- 2 認定農業者支援
- 3 環境にやさしい農業支援
- 4 経営環境の整備・支援

町田市研修農場(小野路町)を拠点として、JA町田市やNPO法人等と連携しながら、野菜の栽培技術を中心とした農業研修を実施し、新規就農者や農業後継者、援農ボランティア等を育成します。



また、育成した新規就農者や農業後継者の就農を支援するほか、援農ボランティアの活動に取り組む団体を支援します。

農地保全

- 5 生産緑地の保全・活用
- 6 遊休農地の解消 **重点**
- 7 七国山風致地区保全
- 8 田んぼの保全推進

市街化調整区域の農地を対象に、遊休農地と新たな担い手をマッチングさせる農地あっせん事業を行います。



また、条件の悪い農地への農道整備を行います。

地産地消推進

- 9 大型直売所の整備
- 10 学校給食への食材供給
- 11 町田産のブランド化

市民が農を体験できる施設として、既存の市民農園(5園)の運営だけでなく、新たなコンセプトの市民ふれあい農園の整備を検討します。



また、農地所有者自ら開設する農家開設型貸し農園の情報提供等を行います。

市民と農のふれあい推進

- 12 市民農園の整備・支援 **重点**
- 13 体験農園・観光農園の支援
- 14 農業祭の開催

※施策の具体的な内容については、重点事業のみ掲載しています。

市では、遊休農地の活用や農業を支える環境づくり、持続可能な農業を実現するための10年間の施策等を定めた「町田市農業振興計画」を策定しています。

2007年度に策定した、第3次の計画から5年が経過し、上半期の中間評価を行いました。この評価を踏まえ、

知っておきたい

防災まめ知識②

問防災安全課

☎724・2107

FAX050・3085・6519

地震の強さは「震度」や「マグニチュード」といった言葉で表されていますが、その違いをご存じでしょうか。

「マグニチュード」は、発生した地震のエネルギーの大

「震度」と「マグニチュード」は、どう違うの??

「震度」は、その場所での揺れの大きさを10段階(0～4・5弱・5強・6弱・6強・7)で表したもので、基本的に震源から遠くなるにつれ

小さくなるので、一般的に「M○○(○)は数値」で表されます。この数値が1増えるとエネルギーは約32倍になります。

この「震度」は、現在は機械で観測したものが発表されていますが、1996年までは気象台の職員が体感等をもとに判断していました。

昨年3月に三陸沖で発生した東日本大震災のマグニチュードは「M9・0」で、町田市の震度は、「震度5強」と

て小さな数字になります。この「震度」は、現在は機械で観測したものが発表されていますが、1996年までは気象台の職員が体感等をもとに判断していました。



発表されています。

高齢者が長く安心して暮らせる地域づくりを目指して「能ヶ谷あんしん相談室」を開設

市は、高齢者が加齢とともに社会的に孤立して閉じこもりがちになることを予防し、地域全体で高齢者を見守るために「あんしん相談室」を開設し、見守りの支援をしています。

このたび、「本町田」「木曾山崎」に続き、市内3か所目となる「能ヶ谷あんしん相談室」を開設しました。

相談窓口では、高齢者ご本人だけでなく、家族の方や日ごろ見守っていたいという

地域の方々からの相談もお受けしています。お気軽にご相談下さい。

今後は、市内9か所に相談室を設置していく予定です。

○所在地 能ヶ谷3-2-1 鶴川地域コミュニティ1階

○電話 ☎718・1223

○受付 月～土曜日(祝日、年末年始を除く)の午前8時30分～午後5時15分

問高齢者福祉課☎724・2140 FAX050・3101・6180

暑さがピークを迎えます

熱中症にご注意を!

気温の高い日が続く、熱中症で救急搬送される件数が急激に増加しています。

市内では昨年、熱中症の半数近くが8月に発生しています。また、約40%が住宅等の居住場所で発生しています。

これから暑さがピークを迎えます。室内でも油断せず、次のことに気をつけて、熱中

- 暑いときは我慢せずエアコンや扇風機を使いましょう。
- 乳幼児や高齢者など体温調整が十分にできない方は、周囲の人が配慮しましょう。
- 外出時は帽子や日傘で直射日光を防ぎ、日陰など涼しいところで休憩しましょう。
- 問保健企画課☎724・4241 FAX050・3101・8202

2012年度からの下半期の行動指針であるアクションプランを策定しました。

このプランは、「担い手育成・支援」「農地保全」「地産地消推進」「市民と農のふれあい推進」の4つの基本方針と、その実現のための14の施策(うち3つが重点事業)で構成しています(左上図参照)。

※詳細は町田市ホームページまたは農業振興課でご覧いただけます。

おめでとう! 日大三高が夏の甲子園に2年連続出場



7月28日に日本大学第三高等学校が第94回全国高等学校野球選手権大会西東京大会で、15回目の優勝を遂げ、2年連続で夏の甲子園出場を決めました。

健闘を願って8月2日に市役所で開催された壮行会には、大勢の市民の皆さんが集まり、大きな拍手と声援がおくられました。

石阪市長が「私も市民の皆さんも2連覇を期待しています。プレッシャーを力にして活躍をしていただきたい」と激励すると、小倉監督は「選手たちへのびのびとプレーをさせ、また優勝旗を持って町田に帰ってこられるように頑張りたい」、金子主将は「一戦一戦を戦っていくことを忘れず、優勝旗を取りにいこうという気持ちで戦いたい」と決意を語りました。

初戦は、福島県代表の聖光学院高校と8月11日(土)午前10時30分から行われます(予定)。みんなで応援しましょう。